

2015 年 医療統計実習コラム

4 月 21 日

土曜、東京で「ビッグデータの利活用に係る専門人材教育に向けた産学官懇談会」なる会議があり、行って来た。このところ東京での会議はなるべく減らす方向で画策しており、今年もひとつ委員会の任期が来たので、更新はせずにスルーしたのであるが、先生が京都に来る前に勤めていた統計数理研究所の所長からの依頼だったので、しぶしぶお引き受けした。どちらかというと、ビッグデータなんてまゆつばもので、ちゃんと計画して収集したデータを専門家が解析した結果でなければ信用しないたちなのであるが、「人材養成」とのことなので、ちゃんとした専門家を養成する、という方向に行けばいいなと思って参加した。予想に反してなかなか面白い会議であった。とくにヤフーの方の話がはっちゃけていて面白かった。せっかく東京に行くので、かつて統計数理研究所のあった広尾まで行って、[箱根暁庵]でうまい蕎麦を食べようともくろんだのだが、暁庵がなくなってしばし呆然。しかたなくそのへんの店に入ろうかと思ったものの、一旦蕎麦モードに入ってしまったので、頭の中は『蕎麦蕎麦蕎麦蕎麦』状態。神谷町にとって返し、巴町砂場に入る。ここは「趣味のとろろ蕎麦」が名物なのだが 1500 円もするので、手打ちのざるを頼むつもりが「本日分は売り切れしました」。それでは季節の桜おろし蕎麦、という桜海老のかき揚げ入りおろしぶっかけ蕎麦を頼む。まあちゃんとした蕎麦でかき揚げもおいしくいただいたのだが、これも 1500 円もして、いくらおいしくても蕎麦で 1500 円はないよなあ。ああ京都でもうまいそばを食べたい今日この頃であった。

4 月 28 日

土曜日、秘密の場所で医療統計のお花見会を開催した。正真正銘、桜のお花見。「秘密の場所」なので参加者以外には教えない。恵子先生と大丸で、錦平野のお惣菜セット、正起屋の焼き鳥(つくね、もも串)、神戸開花亭のひとくちひれかつ、R 1/F の小海老フライ、滋賀の日本酒[神開 玉栄無濾過純米生原酒]を購入。そして錦に出て、中央米穀のお結びいろいろ、畑野軒の柏餅を買い込んでいざ秘密の場所へ。と、ビール係りがまだ到着しておらず、待つことしばし。二村くん、西尾くんが研究室からビールを持ってきたので、やれやれようやくよなよなエールで乾杯。くつろいでいると偶然猪飼先生ご一家もきていて、猪飼先生のお嬢さんがとても可愛かった。水曜日のネコ、インドの青鬼から日本酒に切り替えて飲み続ける。3 人で作っている小さな蔵とのことであったが、フレッシュでうまい。今年は桜の開花が早かったので、この時期まで持つかどうか心配していたのであるが、ぎりぎりセーフで名残の桜を楽しめた。とはいうものの、桜の花がぼとぼと食べ物の上、カップの中に落ちてきてたいへんだったが、まあそれも花見のうちである。天気が良く暑いくらいであったので、3 時過ぎにはお開きにする。

再び大丸に戻り、先ほど買った[神開]がおいしかったので、今度はお勧めの神開純米吟醸[ラ・ピアッジオ]を購入。ほんとうはこれを花見にもっていきたかったのだが、冷えているも

のがなく、代わりに純米にしたのであった。けっこう飲んだので家に帰ってぼーっとするが、夜は夜でまた飲まねばならぬ。再びビールで、まずはヒューガーデンの白。続けて Bredwdog の Dead Pony Club、ラグニタスマグナムを空ける。こうして春の夜は更けていく。

5月12日

土曜日、「地ビール祭り京都 2015」という催し物があり、恵子先生と三条会商店街に行ってきた。2回目から三条会商店街での開催で、先生たちも2回目から参加、過去の実習コラムを調べたところ今年でもう5回の参加となる。例によって連休中に Sheep's(例年、実習の打ち上げをしているお店)で前売り券をゲット、14時開始で昨年は15時過ぎに行ったところすごい人だったので、店の人に聞いて今年は早めにでかけることに。10分くらい前についたのだが、まだビールは売っていない。昨年お目当てのビールが売り切れていたのも、最初はベアードビールに並ぶ。14時ちょうどに合図とともに一斉に販売開始。三条会商店街の中を今年は6か所に分かれて各醸造所のブースがあり、有名どころ、おいしいところは長蛇の列となってしまう。われわれは並んでいるところは無視して、空いているところを中心に飲みまくるのが常。はたはたのから揚げをつまみにベアードのアンバーとホホワイトを飲む。この祭りの難点は商店街の中なので、座ってゆっくり飲むということができないことである。しかもビールのカップとつまみを持つと両手がふさがってしまいつまみが食べられない。それでも今回は以前よりもテーブルがたくさん置かれており、なんとか場所をみつけてお店を広げることができた。つまみは三条会商店街のお店から手に入れなければならないので(そうでないと商店街が協力してくれなくなる)、餃子や串焼き、だし巻き、焼きそばなどをここここで買い求める。前売り券はビール6杯がセットになっているため、ただただひたすらビールを飲み続け、最後の方はもう味もよくわからない。例年通り次第にたくさんの方がやってきて、15時ごろにはもう各ブース長蛇の列となっている。早めに来て正解であった。

5月19日

先々週の金曜(地ビール祭りの前日)は東京出張だった。午前が4月にあったビッグデータの懇談会、午後が医薬品医療機器総合機構の科学委員会とたいへん効率の良い1日。しかし東京で朝10時からの会議だと京都7時ごろ発の新幹線に乗らないといけないのが少々つらい。5時半に起きて6時55分発ののぞみに乗る。2つの会議ともにプレゼンがあるので、スライドの見直しなどを行っているうちに東京着。まずはデータサイエンティストに必要な素養について、初等統計教育の重要性、数理統計を教えるのではなく、統計のおもしろさを伝えてほしいと京大では今年から「統計入門」という教養講義をはじめたのでその紹介、それとやはり倫理が重要なので日本計量生物学会が作成した「統計家の行動基準」の紹介。せっかく東京に来たので、昼は築地に出てうまい鮎を食べることに。神谷町から日比谷線で築地に行き、場外の[すし大]で奮発してあやめ握りを堪能する。築地は決して安くないが、おなじ値段でワンランク、ツーランク上のものが食べられる。さて、15時からは科学委員会の

プラセボ専門部会で非劣性試験の解説。以前のプラセボ部会で、非劣性試験だけを続けていくとしまいにはプラセボと効果の変わらない薬が承認されてしまう可能性がある、と講演した先生がいて、そのことを統計的にわかりやすく学部レベルの講義で説明してほしいとの依頼。さすがに非劣性試験を学部レベルで説明するのは無理なので、前期の医療統計でも話している内容をアレンジして話す。急いで京都に戻り、明日に備えて酵素を活性化させる。

5月26日

オープンキャンパス、お疲れ様。例年、オープンキャンパス終了後に打ち上げをしており、今年も医療統計集會室で打ち上げることに。初参加のEBM推進部の上嶋先生、保野先生も参加。十両さんからチキンから揚げ定食、出し巻定食(といいながら、なぜかサバの塩焼きがついてくる)、ひれかつ定食の出前をとり、よなよなで乾杯。このところ部屋飲みをさぼっていたため、よなよなが溜まってしまい(医療統計ではよなよなエールを年間契約していて、隔月で1ケース届く)在庫を一掃する意味もある。よなよな、水曜日のネコ、インドの青鬼、British Pale Aleなどを飲み続ける。保野先生が日本酒「大治郎」を一升持ってきてくれたのであるが、これがまたうまい。かれこれ9時近くまで飲み続け、すっかりいい気持ちに。もうお腹もいっぱいであるが、恵子先生が「メのカレー」と言い出し、最後はカレーでお腹ぱんぱん。

6月9日

先週、かぜをひいたようで調子が悪く、火曜の講義をなんとか済ませたものの、木金と東京出張、土曜からは集中講義がはじまり、中之島で2コマ講義、となんだかたたびれた1週間だった。木曜の東京出張は医薬品医療機器総合機構の科学委員会。2年1期だけというので引き受けたらこれが大うそ。第1期の委員は全員留任だと言われ2期目も続けるはめに。次期科学委員会で取り上げるテーマを挙げてほしいというので、まあ今年度で終わりだからと、データベースを用いた新しい市販後調査のあり方についてはどうですか、と提案しておく。金曜は東大計数工学の竹村先生のところ、gaccoというサイトの統計学の講義を引き受けたので、大分大学の和泉先生とその打ち合わせ。(Massive Open Online Course, MOOCというらしい。)統計検定2級相当の講義を予定しているそうで、最初は検定の講義をとられたのだが、先生は今朝の講義の通り、検定どっちでもいい派だし分割表の方がおもしろいので変えてもらう。ところがこれまた11月の統計検定にあわせて開講するとかでスケジュールが超タイト。準備がたいへんそうで困ったものである。しかも相変わらず鼻水が止まらないし。12時50分のもぞみに飛び乗り、大学に戻って月末のリリースpringセミナーの打ち合わせ。このセミナーももう11年目、参加者から臨床研究の事前課題資料がどっさり送られてきて、帰りの新幹線の中はその資料読みで過ごす。で、土曜は9時半から中之島で講義。大阪大学にいた濱崎先生が、阪大のMEIセンターというところで大学だけでなく企業の人にも対象に講義をすることになり、臨床試験関係の講義などをされていたのを、観察研究の講義もしたいというので合同で開講することに。ところがその後濱崎先生は国立循環器

病研究センターに移り、もうやめるのかと思ったのだがまだ続いている。ようやく鼻水は収まったものの、今度はのどの調子が悪く、それでもなんとか 2 コマを無事こなす。ようやく一息ついて日曜はのんびりする。こういうときはおいしいもの食べ、おいしいお酒を飲むに限る。というわけで晩ご飯は恵子先生の希望により生春巻きでスタート。もやし、にら、きゅうり、海老をライスペーパーで巻いて、ヒューガーデンの白とともにいただく。もう少しビールが飲みたかったので、とうもろこしを電子レンジで蒸して PUNK IPA、はじけるホップが心地いい。あとは日本酒に切り替えて、奈良は油長酒造の風の森山田錦純米吟醸に久在屋のおいしい豆腐、鶏肉の味噌漬けを焼いてきゅうりとともに、きゅうりがうまいのでそのまま味噌をつけていただく。風の森は酸味がかなりあり、甘口なんだがイケる。風の森の後は新政のラピス、こちらは純米ながら純米吟醸のようなさわやかさ。これでかぜがぬけてくれるといいのだが。

6月16日

先週も土曜は中之島で集中講義で、午前 2 コマの講義をこなす。今週の土曜で終わりであり、幸いにしてかぜもよくなったようであるが、先生はまた 2 コマ講義があるので気が抜けない。帰りに、恵子先生がまぐろを食べたいというので、祇園四条で降りて高島屋に寄る。中島水産で刺身盛り合わせとまぐろぶつを買って、このあいだ食べておいしかった久在屋の高い豆腐を買おうと思ったらすでに売り切れであった。無性に餃子が食べたくなり、551 で餃子も買って帰宅。まずはビールで餃子。最初はよなよなの新しい「柚子エールあら塩仕立て」。以前 BrewDog の「こんにちは狐」という柚子エールがとてつもなくうまかったので、期待して注文したのだが残念ながら「???」、しょっぱい。久在屋のあげを焼いてきざみねぎたっぷり醤油をかけて、これはスタンダードなよなよなエールでいただく。よなよなはやはりよなよなが一番うまい。あとは刺身と冬瓜の炊いたのを佐賀の七田夏純で。ちょっと重たい気がするが、純米酒なのでこんなもんであろう。刺身に日本酒が進む。

6月23日

土曜でやっと集中講義が終わり、先週は gacco の「統計学 II」の準備などもあり忙しかった。「統計学 II」では第 5 週の「適合度と分割表の解析」を担当するのであるが、トータル 90 分弱の講義の準備に 2 週間もかかってしまった。(物は試し、と引き受けたのだが、失敗だったかも…) そんなわけで日曜はのんびりするはずが、午前中は受験希望者との面談があり大学へ。恵子先生と錦でお昼を食べ、帰宅後は NHK 囲碁の時間を観たりしてようやくのんびりする。さて夕食は、秋田産のそら豆を蒸し、ポテトサラダ、煮豚の辛し和え(2003 年 医療統計実習コラム参照)でビール。あまりおいしくないのだが、たくさん買ってしまったのでよなよなの柚子塩エール、次いで BrewDog の Dead Pony Club。煮豚の辛し和えがビールに合っとうまい。あとは日本酒に切り替えて、陸奥八仙の夏吟でいかとなすと隠元の煮物。これは先生が子供のころ母親がよく作ったいわゆる「おふくろの味」なのだが、以前母親に聞いたら「そんなの覚えてない」とのことで、「母親も忘れたおふくろの味」として語り継がれている。

6月30日

やれやれ、やっと6月のイベントが終わった。土日は小児内分泌の若手の先生を対象としたスプリングセミナーで臨床研究ワークショップをやってきた。ワークショップは日曜なのだが、土曜は恵子先生の医療倫理の講演があるのと、昨年から参加者のみなさんと一緒にチームビルディングなるものにも挑戦している。今回は8班が2班ずつ組になって、限られた材料で橋を作ってドッキングさせ、投票で優勝者を決める、というもの。まあ内容はともかく、最後の投票の際、各班2票投票でき、ただし自分の班には入れてはいけない、というルールなので、先生「優勝を狙うのなら、一番出来の悪い班に2票とも入れよう」、一同「ええーっ」。「でもどの班もその戦略を取ったら、一番出来の悪い班が優勝しますよね」、先生「そのリスクは覚悟の上、それはそれでおもしろいじゃないか」ということで、一番出来の悪い班に2票入れたところ、案の定、その班が優勝してしまった。先生たちの班は2位。(ちなみに恵子先生の班は今年も最下位。)そんなわけで、日曜の夜は恵子先生とお疲れ様、と乾杯。今日は疲れたので買ってきたお惣菜ですます。最初は枝豆でヒューガーデンの白。講義の後のビールは格段にうまい。続いて、おぼろ豆腐、ポテトサラダ、中華春雨をあてにヌグネのセゾン。昨今のクラフトビール人気の草分けであるが、これもうまい。あとは、ずいき酢、アスパラの白和え、冬瓜、これは日本酒なので、島根の廣瀬先生からいただいた七冠馬と、最近お気に入りの奈良の油長酒造は風の森。食後はBrewDogのバーレーワイン、さすがBrewDogである。

7月7日

金曜、例の gacco の mooc(なんのことやら)「統計学 II」の撮影があった。門原さんのレポートに、「講師がスライド読んでいるだけのようなのは放送大学っぽい」とあったが、先方からはトークスクリプトを作ってくるよう言われていたので、時間も限られているし、スクリプトを作って読み上げることに。まあ次回は完璧に練習して行って、自然にみえるようにしよう。(しかし、たぶん次回はない。)10分弱の講義を8回分の撮影だが、当日渡された予定表をみると、13時開始で8回目終了が16時10分の予定、ここまではまあいいとして、そのあとに「(予備)」と書いてあり、「撮影終了」の時刻が18時!! そんなに身体は持たないぞ。びくびくしながら撮影開始。講義と違ってテキトーな間が取れないので、しゃべり続けなのと、緊張するのでやたらとどろどろが渴く。先生としては、普段の講義からすると70%くらいのできであったが、スクリプトを作っていたおかげで(もちろん練習もしていった)、15時に無事撮影終了。やれやれ、講義と違って2時間動かず、立ちっぱなしだったため、ふくらはぎが痛くなる。土曜はJCOGの肝胆膵グループ会議があるので東京泊。夜はひとりで乾杯。枝豆をつまみながらオラホビールのキャプテンクロウエクストラペールエール。ホップがきいててうまい。ついで、柿安の串揚げセット(海老、豚ロース、いか、なすとズッキーニ、うずら卵)にイギリスのきいたことないブルワリーのライ IPA、これもうまい。あとは日本酒に切り替えて、秋田は「まんさくの花」の純米大吟醸とセブンイレブンのもつ煮込み。昨年、「セブンイレブンのもつ煮込みがうまい」

とコラムに書いたら大反響で、「もつが食べられないのに、あまりにおいしそうなので買ってしまい、やっぱり食べられなかった」という、あえて名前は伏せるが大林という学生さんもいたほど。ベアードビールのわびさびジャパンエール(これはベアードにしては普通だった)、志賀高原ビールのインディアサマーエールも飲んで、すっかりいい気持となり、10時に就寝。

7月14日

なぜか土日は青森に。今年の1月に青森栄養士会での講演を引き受けたのだが、そのときは6月7月がこんなスケジュールになるとは夢にも思っていなかった。まあ締め切りのある仕事は先週の金曜までに大体すんだので、これまでの出張と違い、移動中も仕事のし続け、という事態は避けられた。土曜の午後ホテルにチェックインしてまずは60分マッサージにかかり悶絶。夜は大熟考の末、日本酒バー〔螢の香〕へ。最初は「Date 7」という宮城の蔵元7社が共同で作ったという酒。これが酒米はふつうの米のようだが、かなりうまい。次いで、今日入荷したという「東北泉」、これは普通のうまさであった。最後に青森のお酒をと頼むと、豊盃の純米吟醸と田酒の純米大吟醸が半分ずつ。これがどちらもすばらしくうま、たいへん満足した。日曜は調子よく1時間半しゃべりっぱなし。自宅には9時半着。青森は遠いなあ。

7月21日

多くのひとはしらないと思うが、早川書房が「宇宙英雄ローダンシリーズ」というSFを刊行し続けている。先生が中学1年の時に第1巻が出版され、それ以来ずっと読み続けているのであるが、この7月8日にとうとう500巻が出版された。珍しくドイツのSFで、ドイツでは毎週1話、いまだに続いているという世界最長のシリーズらしい。日本では最初は不定期、だいたい隔月刊となり、年10巻(2月と6月のみお休み)から月一、2010年からようやくドイツとおなじ月2冊(日本では2話で1冊)の刊行。第1巻から44年、感無量である。早川書房は売れなくなるとシリーズのものであっても途中で翻訳をやめてしまう前例があり(映画にもなった「エンダーのゲーム」のオーソン・スコット・カードの作品ですら、最後まで翻訳されていないシリーズが2つもある)、このローダンシリーズに限っては老後の楽しみに先生が死ぬまで翻訳し続けてほしい。(それでもドイツには追い付かないのであるが。)何回かこのコラムにも書いたが、2010年4月からは100巻からローダンシリーズの読み直しプロジェクトを実施しており、いま353巻まできた。月平均5.5冊、悪くないペースで、これでさらに毎月2冊のローダンの新刊も加わる。500巻も続いていると、主人公のローダンが登場しない巻はざらで、何巻にもわたって地球人すらでて来なかったり、この間驚いたのは、ロボットと人工生命体だけでストーリーが何話か続き、またそれがおもしろいのが不思議である。

9月16日の発表会終了後、聖護院のビアパブ Sheep's で打ち上げを開催予定です。医療統計の山下さんに幹事をお願いしたので、山下さん、よろしく。